

課題名：本邦における感染性心内膜炎患者への画像検査実施率に関する研究
：リアルワールドデータを用いた観察研究

1. 研究の対象

2015年1月から2023年3月に大阪大学医学部附属病院・大阪市立総合医療センターで感染性心内膜炎と診断され14日以上入院された方
あるいは同期間、同施設において感染性心内膜炎と診断され、14日以内に転医
あるいは死亡した方

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、保険レセプトデータ上の入院主病名が「感染性心内膜炎」となっている患者さんが、臨床的に真の感染性心内膜炎である確率（＝陽性的中率 PPV）を算出することです。2名以上の感染症専門医が電子カルテの記載や検査記録をもとに、感染性心内膜炎かどうかを判定し、陽性的中率を算出します。このような検証を行う研究をバリデーション研究と呼び、こうしたバリデーション研究がなされることで、高精度で、より大規模なデータを解析することができるようになります。

研究期間：研究機関の長の実施許可日～2028年3月31日
利用を開始する予定日：2025年4月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

観察研究であるため試料を用いることはありません。

情報：年齢、性別、人工弁置換術後および心臓デバイス埋め込み術後の既往歴の有無、入院日数、転帰（退院・転医・死亡）、細菌学的検査結果、心エコー/心臓CT/[18F]FDG-/PET/CT検査実施の有無、抗菌薬投与日数、外科的治療の有無 等

4. 外部への試料・情報の提供

大阪大学へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当機関研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織（利用する者の範囲）

大阪大学大学院医学系研究科変革的感染制御システム開発学寄附講座准教授
山本 舜悟

大阪大学大学院医学系研究科感染制御学講座 福岡（八幡） 里紗
大阪大学大学院医学系研究科 感染制御学講座 教授 忽那 賢志

大阪市立総合医療センター感染症内科部長 白野 倫徳

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

住所：〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-15

連絡先：06-6879-5070

担当者・研究責任者：大阪大学大学院医学系研究科 変革的感染制御システム開発学寄附講座 寄附講座准教授 山本 舜悟

研究代表者：

大阪大学大学院医学系研究科 変革的感染制御システム開発学寄附講座 寄附講座准教授 山本 舜悟